

災害メモリアルKobe

なぎさ小学校 五年三組 松井 若葉

わたしがまだお母さんのおなかの中だったころ、阪神淡路大震災と言う、すごく大変なことがあったらしい。また、その時の様子をきしもとくるみさんが話してくれた。

震災直後の街の様子は、家が横にたおれ、あき地が焼け野原だったから、バケツリレーをがんばってやっていたそうです。

それに、家の中の様子は、タンスやクローゼットもたおれ、ガスもつかないから、すぐく寒かったと思います。

けれど、もっとつらかったのは、冷ぞろ庫がたおれ、食べ物とれなかったこと、水がストップしてしまったので、トイレが出来なかったことだそうです。この話を聞いて、外のほうが大変だと思っただら、家の中もすごく大変だったんだと思っただ。

でも、何日もすると、いろいろな物がたくさん送られてきた。おかげで、前よりもすご

く生活が楽になっ たそう だ。人間の かって、
予想 できな いぐら いすばら しい。
きし もと くる みさん は、ある えんぴつ を
送ら れて いた 物の中 から 拾っ て、使 うこと に
した。

けれど、よく 見てみると、
「おおぎ だに やえ」と 書いて あった。
きし もと くる みさん は、その 名前 のとこ
ろを 消し てしま ったらしい。

だが、後 から 考 えると、
「まっ たく 知らない 人にも 心配 されて いたん
だ。」

と思い、自 分の した 事 がは ずかしく なり、
すごく ころう か いした らしい。
それ から、きし もと くる みさん が 高校 生
にな ると、海外 に行 きじしん について、いろ
いろ なこと を子 供に 話 して あげ たそう です。

この じしん でつ らか った こと もあ った と思
う けど、これ は 人 と人 との つな がり をよ りふ
かめる ため のし れん だっ たの かも と思 いま す。